



酒仙人直伝！

お酒をめぐるイイ話

監修：日本酒サービス研究会・酒匠研究会連合会

お酒をめぐるネタを酒仙人が直伝！

[Vol. 22 配信日：2018年5月25日]

お酒に関わる偉人達シリーズ① 前田利右衛門

(クニちゃん)

前田利右衛門ってどんな人なんですか？ 芋焼酎に関係あるって聞いたんですけど。



(酒仙人)

おお。そうなんじゃよ。サツマイモが薩摩（今の鹿児島県）に定着するのは、1705（宝永21）年に南薩摩山川の前田利右衛門が琉球からサツマイモを持ち帰って、栽培方法薩摩藩に伝えてからのことなのじゃ。

薩摩大隅一体は、火山灰でできたシラス土壌ゆえに、土地が痩せておる上、台風常襲地帯じゃから米などが育ちにくい土地柄なんじゃ。そのため、薩摩藩では火山灰にも台風にも強いサツマイモ栽培が奨励されたのじゃ。そのおかげで江戸時代に幾度となく訪れた飢饉の際も、山川では命を落とす人はいなかったんだと。そういう訳で、前田利右衛門は、サツマイモ普及の最大功労者と言われておる。そして、「甘藷翁」（方言では「カライモオンジョ」）と称されて、山川徳光神社（鹿児島県指宿市山川岡見ケ水）に祀られておるのじゃぞよ。

そしてそれまで薩摩藩では米や雑穀で造られていた焼酎が、1700年代半ばには、サツマイモで造られるのが主流になっていったんじゃ。



芋焼酎は、サツマイモの種類により、香味が異なる

その後、昭和50年代初頭の第一次焼酎ブーム、昭和60年初頭の第二次ブームを経て、平成年代後半からの第三次ブームを迎え、鹿児島県産芋焼酎は、業界のけん引役として前進し続けておるのじゃぞい。

今、おいしい芋焼酎が飲めるのは、前田利右衛門のおかげなんじゃのお〜。

◆参考：指宿酒造株式会社ホームページ http://www.riemon.com/about_riemon
「焼酎の基」（日本酒サービス研究会・酒匠研究会連合会/SSI）

【注意】

- ・記事、データ等の著作権その他一切の権利はNPO法人FBOに帰属します。
- ・記事・データ等の正確性については万全を期しておりますが、当該記事・データ等の利用により生じた不利益や問題等について当会は責任を負うものではありません。
- ・記事・データ等は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。